

搾り取られる

栗花落力ナヲ

縄鬼から体液を



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



一瞬意識が...

はあ

んはあ...

はあ!!

ああ!!

ギチッ



淫紋修復中...深度2
状態異常: くすぐりが弱点になる

このままでは
私...また...!!

んはあ

ガッ

呼吸で力を溜めて
一気に斬り払えば
縄を斬れるはず

んぐ...

んぐ...

刀を盗られ
ちゃう

※淫紋の修復: 淫紋の状態がまだ完全でない為、修復の術を施している。
※淫紋深度: 修復が進む度に状態異常が付与され、本来の淫紋の力を取り戻していく。
※一気に斬り払えば: 彼女は胴体を縛られていない為、鬼狩りの呼吸法はまだ使える。まだ反撃のチャンスはある。



※くすぐりが弱点：彼女は多くの戦闘経験を積んでおり、くすぐり程度で呼吸を乱される事はない。しかし、くすぐりが弱点付与されたことにより、縄鬼たちのくすぐり攻撃に過敏に反応する体になってしまった。少しでもくすぐられれば呼吸を乱されてしまう。縄鬼たちは全集中の呼吸を妨害し、淫紋の修復を進める為に時間を稼ごうとしている。



※肌感度上昇：淫紋の修復が進み、新たな状態異常が付与された。服の上からならまだ耐えられたが、直接、肌に触られることによってこれまで経験したことがないくらい、自律神経を乱されてしまっている。もう全集中の呼吸どころではない。両手両足を縛られて逃げ場がないのに、くすぐりから逃れようとして体が勝手に動いてしまう。心を閉じてる頃の彼女なら耐えられたかもしれないが…



※抜け落ちる刀：呼吸を整える為にもくすぐりを耐える事に集中してたが手汗をぬぐうことができず、手から刀が滑り落ちてしまった。もう彼女に脱出する術は残されていない。
 ※淫紋修復完了：淫紋が機能するようになり、彼女は性感攻撃に対する耐性をゼロにされた。ちょっとした性感に対しても全身の力が抜けてしまい抵抗できなくなってしまう。例え縄がほどけて全集中の呼吸が使えたとしても、性感帯を触れられてしまえば動きを止められてしまう。もう手遅れだ。
 ※失禁：希望を絶たれた事で耐えられなくなってしまったのだろう。終わらないくすぐりに追に限界を迎え、彼女は失禁してしまった。



※床を舐める：縄鬼は人間を殺さないし食べもない。代わりに愛液や母乳を吸う事で力を得ている。鬼狩りの体液は多くの力を得られるので積極的に狙っている。

※縄鬼の集：オヤビン＝リモコンパイプ鬼が討伐された事により隠れ家を失ったため、今は無限城の一角を無断で使用している。

縄鬼たちは無惨の支配を逃れているので殺意を発露しないが、人を殺さない方針は無惨とは相いれない為、命を狙われている。なら無限城にいるのは危険そうではあるが逆に見つからないらしい。ここに定期的に鬼狩りが落ちてくるのを知っているの、無限城に転移ゲート付近に罠を仕掛けて獲物を狙うことにしている。



※自動股縄装置：車輪を回転させて縄を巻き取ることで、コブ付きの縄が滑走して股に食い込む調教装置。
※リモコンローター：膣内に挿入されている振動する玩具。縄鬼が手に持っているリモコンで振動の強さを操作可能。
※愛撫：淫紋の効力により軽いタッチでも彼女は敏感に反応してしまう。股縄にローターにおっばい。彼女は同時責めを耐えることができるのだろうか…



※指ローターの術：指先を振動するローターに変化する血鬼術。掌で乳房を包み込み、振動する指先で乳腺を程よく刺激する。
※母乳：淫紋の深度が深まることにより追加された状態異常。母乳が出る体にされたしまった。
母乳を絞られる度に射精のような通り抜ける快感を得てしまう。



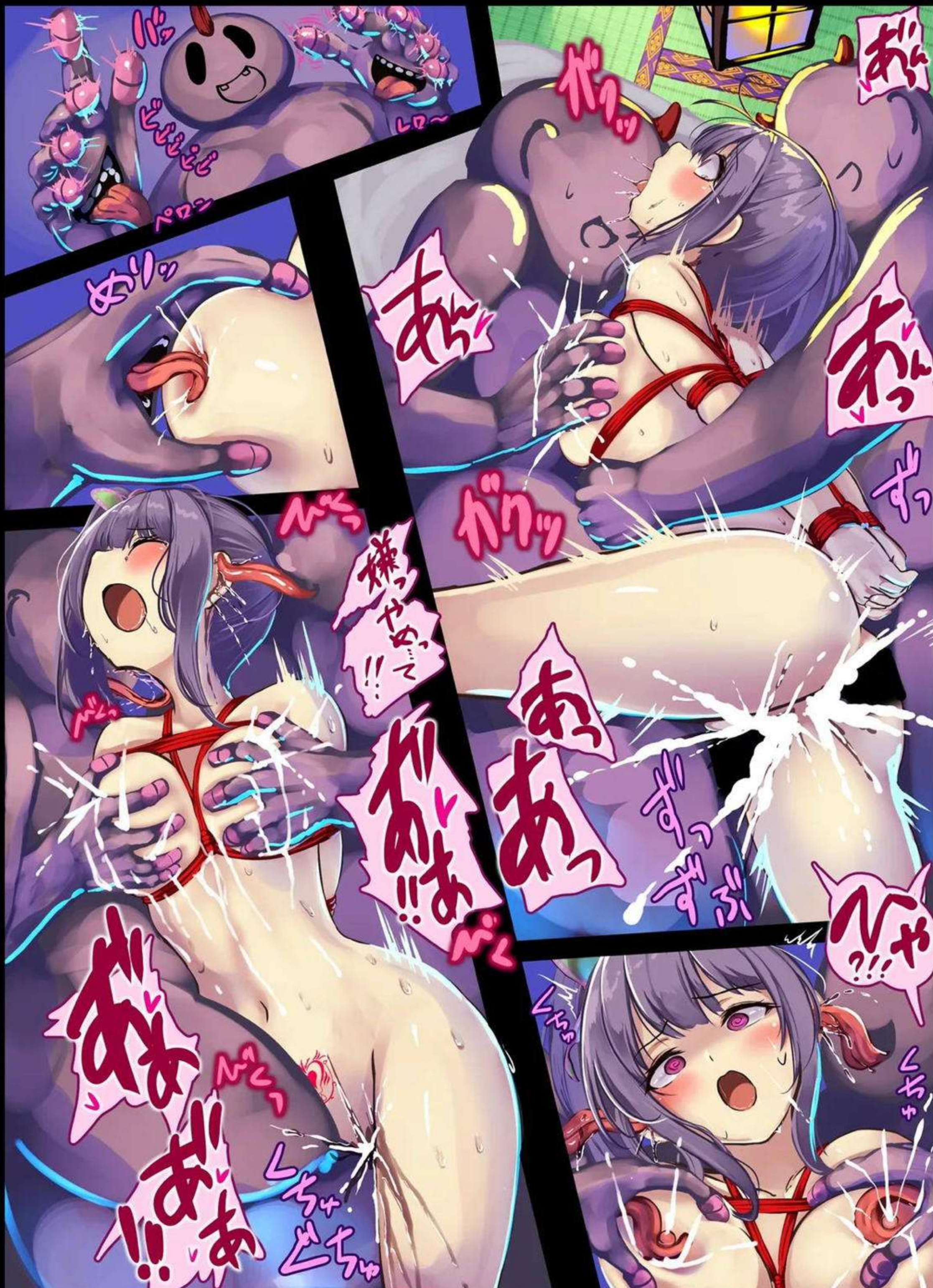
※止まらない母乳：彼女は出たがために無理やり母乳が出続けてしまう状態。同時に股縄責めをされることで絶頂が止まらなくなってしまう。
あまりのできごとに小鬼たちも目を離す事ができない。



※授乳：床を舐める事で得られる愛液と同様に、母乳も貴重な栄養源。小鬼たちは我慢できなくなり、乳首をしゃぶり始めた。

母乳を吸い取られる快楽で絶頂に対する踏ん張りも忘れてしまうくらい脱力してしまっている。

※ローター最高レベル：連続絶頂のリズムを察して、リモコン係が追い打ちをかけてきた。ローター未経験なら一瞬で達してしまうほどの強烈な振動である。



※二穴挿入：膣と尻を同時に挿入する体位。すごく難しそう。さらに太くなったイチモツで挟み込まれて両面から圧をかけられてしまう。
何度もイカされてきた彼女だがもうクタクタで自力で立つ事もできない。だが鬼たちの沸き上がる欲求が収まらず、いつまでたっても休ませてもらえないのだ。
※手のひらに口：大鬼になってもまだ子供なので授乳は必要だ。今日の分が出なくなるまで搾り上げてやろう。



※あとがき：つぎの標的を発見した。驚いた事に柱級の巨乳だ...こいつも捕まえればより多くの体液を得る事ができるだろう。
ふふふ...やったぞ! あっさり捕まえることができた。これでもう鬼狩りの呼吸法は使えない。抵抗しても無駄だ!

【あとがき】

本誌を手にとっていただき、ありがとうございました。

カナヲちゃん本2冊目となります。

カナヲちゃんが色んな体液を搾り取られてしまう本はいずれ作らねばと思っていたのですが導入をどうするか悩んでしまいまして…先送りにしてしまってたんですね。

縄の血鬼術の系統の小鬼がカナヲちゃんの母乳や愛液ですくすくと育って

大型のリモコンパイプ鬼が復活を遂げるののかな。という考えに至って、こんな内容になりました。

(求められてないと思いますが、排泄とか血液とかはちょっと射程圏外なので、そこがないのはお許し下さい。)

オチはその…まあ甘露寺さんが相手なら…まあ、こうなりますよね。

もうちょっと縄鬼を強くしないと厳しそうです。

カナヲちゃんのくすぐりはどこまでキャラを崩していいか、とても悩みました。

心が開けば開くほど弱くなるんだと思います。

即オチをページ跨ぎにした都合で後書きコメントの残り行数がないのでこれくらいにしておきます。

冬コミはお疲れさまでした。良いお年を！
次回もどうぞよろしくお願いいたします。



発行日：2025/ 12/31

サークル名：もなかうどん

作家名：モニカノ

Pixiv：242010

twitter：@monikanoid

mail：e3reefen@yahoo.co.jp

印刷：グラフィック

※無断転載複製を固く禁じます

※18歳未満の所持・閲覧を固く禁じます

